

# クイックマニュアル

SEIWA SINC BTE14シリーズ Bluetoothワイヤレスイヤホンマイク

# BTE144・145 取扱説明書A

## 最初にこちらからお読みください。

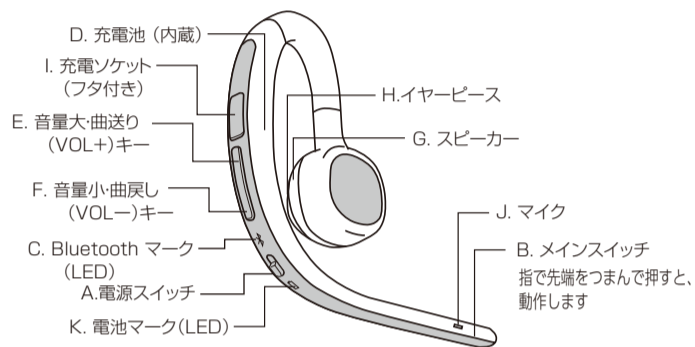
### はじめに

※本製品はお使いになれるBluetooth対応の携帯電話/スマートフォン/パソコン/タブレットなどを総じて「接続端末」と記載しております。

●本書ではボタンの押し方を以下のように矢印で示しています。

短く押す ▶例) 短く1回押す	短く連続で押す   ▶例) 連続で2回押す	長押しする 4秒▶例) 約4秒間長押しする
--------------------	--------------------------	--------------------------

### 製品の名称とはたらき



名称	機能・説明
A. 電源スイッチ	電源のON/OFFに使用します(スライド式)
B. メインスイッチ	指でつまんで押し、通話操作などに使用します
C. Bluetoothマーク	青色と赤色のLEDを内蔵、イヤホンの状態を表示します
D. 充電池(内蔵)	リチウムポリマー電池(充電池の交換はできません)
E. 音量大曲送り(VOL+)キー	主に音量を大きくする時、曲送りなどに使用します
F. 音量小曲戻し(VOL-)キー	主に音量を小さくする時、曲戻しなどに使用します
G. スピーカー	回転可能な通話やビープ音、音声案内用スピーカーです
H. イヤーピース	回転させて音の聞こえやすい角度を調整できます
I. 充電ソケット	付属のUSBケーブルをつないで充電します
J. マイク	通話用マイクです
K. 電池マーク(LED)	赤LED内蔵で電池残量警告時は赤く光ります

### お使いになる前に

お買い求めいただいた後、ご使用前に必ずやっておいただくこと

#### ① 本製品を充電する

イヤホン一度満充電にしてからお使いください。

#### ② お手持ちの携帯電話やスマートフォンなどの接続機器と本製品イヤホンとをペアリングする

Bluetoothイヤホンは最初にお手持ちのスマートフォンやパソコンなどの接続端末に本製品を登録(ペアリング)してから接続することで、ご使用が可能です。

#### ③ 基本操作の説明

本製品の基本的な操作方法を確認してください。

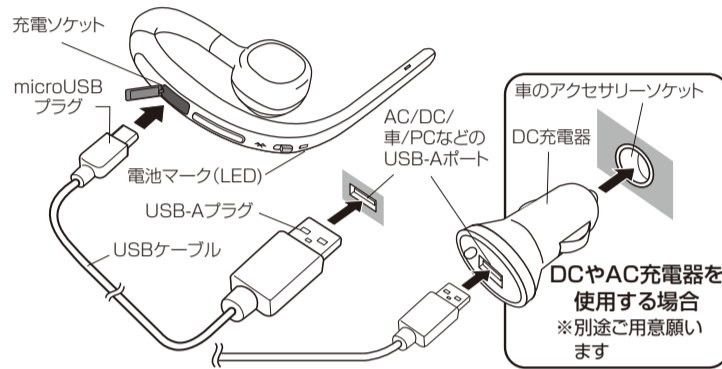
※詳しい説明は、取扱説明書Bをご確認ください

### ① 本製品を充電する

#### 充電をはじめる前に必ずお読みください

- 充電には、必ず付属品(USBケーブル)を使用してください。
- お車のDCアクセサリ電源から充電する際は、最初に車のエンジンを掛けてから、①DC充電器 ②USBケーブル ③本製品 の順で接続してください。
- 充電時間は充電器にもよりますが、残量ゼロからの場合、約2時間です。
- 充電が完了すると、LEDランプの赤色点灯が青色点灯に変わります。本体からUSBケーブルを取り外してください。
- 本体にUSBケーブルをつないだままのご使用はやめてください。
- 充電池の劣化を防ぐため、なるべく連続6時間以上の充電は避けてください。充電が完了したら速やかにUSBケーブルを取り外してください。
- 付属品以外のUSBケーブルを使用されたことが原因での使用上の事故、破損、不具合に関しては当社は責任を負いません。

- 1 USB-Aポート付きのパソコンやAC充電器、車で充電する場合は同じくUSB-Aポート付きのDC充電器をご使用ください。
- 2 本製品の充電ソケットにUSBケーブルのmicro USBプラグ(小さい方)を差し込みます。
- 3 数秒で充電が開始されイヤホン本体のLEDランプが赤点灯。満充電になった時には青LED点灯です。



- USBプラグには差し込み方向があります。プラグ形状とポートの形状を確認してから無理せず慎重に差し込んでください。プラグ類を外す際には、必ずプラグの根元をしっかりと持って、水平にゆっくり抜いてください。
- イヤホンを長期間使用していなかったり、充電池が完全放電した状態では、LEDランプが点灯するまで時間がかかる場合があります。(数分かかる場合もあります)

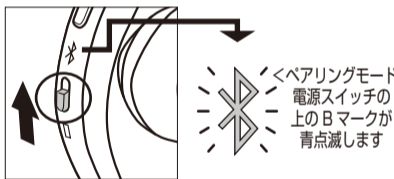
### ② ペアリング(接続端末との登録)をする

イヤホンをはじめてご使用になる場合、接続する携帯電話やスマートフォンとペアリングを行ってください。

※ペアリングは接続する携帯電話ごとに設定方法が異なりますので、設定を行う前に必ず接続する携帯電話の取扱説明書(Bluetoothの項目など)を参照してください。

※主なペアリング手順は →「裏面ペアリングの手順」を参照してください。

開封後、リセット後などでペアリング履歴なし	→ (電源OFF状態から) 電源をONにする
ペアリングモードにする(ペアリング履歴あり)	→ 接続端末機器のBluetooth機能をOFFにする



電源スイッチをON

ご購入、開封直後などの工場出荷状態とリセット後は、本機の電源をONにするだけでペアリングモードになります。ペアリングモードになるとLEDランプが青くフラッシュ点滅を続けます(3分間継続)。3分以内にペアリングが成功すると、LEDランプが数回青点滅し、その後スタンバイモード(自動接続完了...約8秒間隔の青1回点滅)になります。(→「裏面、③基本操作の説明」参照)

3分間のペアリングモード中に認証、登録に失敗した場合などは、自動的に電源がOFFになります。そこから再度電源スイッチをOFFにしてからONにすれば、本機はペアリングモードからスタンバイモードに戻ります。(→「裏面、③基本操作の説明」参照)

購入直後やリセット後など、イヤホンにどのBluetooth機器ともペアリング履歴がない初期状態では、イヤホンの電源をONにするとペアリングモードになります。



- ◆付近に同じ製品が複数あると、接続端末側に[使用できる(ペアリングできる)機器]として、[ BTE14X ]がリストに複数表示されます。
- ◆また、周辺に他のBluetooth機器やワイヤレス接続のPC、自動ドア、電子レンジなどが多い環境では電波干渉が起こります。機器登録や接続ができない場合、何度か場所を変えたり再度探索しなおすなど、繰り返しペアリングや接続をお試しください。
- ◆接続端末は予めBluetooth設定を「ON」に設定の上、探索モードになっている必要があります。
- ◆一度ペアリングを完了すれば、イヤホン側の電源をOFFにしてもペアリング履歴がお互いに残るので電源をONにする度に自動的に再接続できます。イヤホンの電源を切る前に接続機器側でBluetoothを切ったり、接続解除をした場合は、自動で再接続しなかったり、ペアリングの履歴が外れる場合があります。
- ◆本製品は8台までの携帯電話機とのペアリング履歴を記憶できます(8台の携帯電話とイヤホンと同時に接続できるわけではありません)。通話機能で同時接続できるマルチポイント接続は2台までです。

ペアリングの手順(一般的なスマートフォンの場合)※パスキー入力の一部の機種のみ必要です。						
	手順①	手順②	手順③	手順④	手順⑤	手順⑥
携帯電話	電源ON状態	設定からBluetooth選択 BluetoothをONにする	Bluetooth 周辺機器検索	検索結果表示 使用可能機器リスト BTE14X	選んで指でタップ 機器認証	接続完了表示
イヤホン	電源OFF状態	電源ON ONにスライド 緑色	ペアリングモード LEDランプが青点滅	青点滅	青点滅	ペアリング完了

①イヤホン(電源OFF状態)と接続端末(Bluetooth対応機種/電源ON状態)を手元(10cm~30cmぐらいまでの距離)に置いて準備します。

②スマートフォンの場合、[メニュー]や[アプリケーション一覧]から[設定]を開き、[Bluetooth]の項目を選択し、Bluetooth機能を[ON]にし、次にイヤホンの電源をONにしてください。購入後やリセット直後は電源ONにするだけで、自動的に電源スイッチ直上のBluetoothマークが青くフラッシュ点滅してペアリングモードになります。

一度、登録をした後、強制的に手動でペアリングモードにしたい場合は、Bluetooth機能を接続端末側で機能OFFにして電源を入れ直してください。接続できる端末が無ければ本機は10数秒でペアリングモードに移行します。リセットした後も電源を入れ直せばペアリングモードになりますが、それまでの登録履歴はすべて削除されます。

③イヤホンのペアリングモード(LEDランプが青点滅)は約3分間継続します。(以下手順⑥までをペアリングモード中に完了してください) 接続端末側で周辺機器(本機)の検索(サーチ)をします。(例:「メニュー」→「設定」→「Bluetooth」→「BluetoothをON」→「周辺デバイス検索(サーチ/更新)」)

④携帯電話の画面にリスト(Android…[使用可能な機器リスト]など、iPhone…[その他のデバイス]など)が表示され、数十秒の検索結果を待つと「BTE14X」がリストアップされます。

⑤表示された「BTE14X」をタップ(選択)します。

※接続端末によってはPINキー入力を求められる場合があるので、その場合パスキー「0000(ゼロを4つ)」を入力します。(プロフィール登録は「ハンズフリー」で行ってください) ※パスキー入力前に「携帯電話の端末暗証番号」を入力を求められる携帯機種の場合、予めお客様が携帯電話機に登録した端末暗証番号を入力してください。

⑥数秒待って認証が成功すると、イヤホンのLEDランプの青フラッシュが消えてペアリングが終了し、その後、8秒に1回の間隔で青く点滅する表示になれば自動接続が完了します。その際は携帯電話の画面にも「ペアリング成功」「登録完了」「接続」などの表示が出て、Bluetoothアイコンなどが接続中の表示に変わります。

※iPhoneやスマートフォン以外の携帯電話機の場合は、ペアリング登録の後で別途手動で接続を行う場合があります。その場合はHFP(ハンズフリー接続)で接続してください。

※失敗した場合は、一旦電源を切って、もう一度ペアリングモードにして最初からペアリング登録をお願いします。

※音楽再生/TV音声出力をする場合はアドバンスドオーディオディストリビューションプロファイル(A2DP)にも接続していることを確認してください。

※マルチポイント接続する場合は、「取扱説明書B」裏面「8. マルチポイント」参照してください。

### ③ 基本操作の説明

**電源ON(電源を入れる)** → (電源OFF状態から) 電源スイッチをONにする

スライド ↑ スイッチ 緑色

音声案内「電源が入りました」

音声案内「ペアリングモード」 ※工場出荷時、リセット後の接続機種が見つからない場合のみ

スタンバイモード(自動接続完了) → [LED] 青くフラッシュ点滅した後に、約8秒と青1回点滅

音声案内「接続しました」

ご使用になれます

スタンバイモード(未接続) → [LED] 青くフラッシュ点滅(約3分間継続)

まだご使用になれません

音声案内「ペアリングモード」

ペアリングされていない初期状態 → [LED] 青くフラッシュ点滅(約3分間継続)

音声案内「ペアリングモード」 「ペアリングの方法」をご確認になり、携帯電話とペアリングを行ってください。

**電源OFF(電源を切る)** → (電源ON状態から) 電源スイッチをOFFにする

スライド ↓ スイッチ

音声案内「Power off」

電池ランプが赤く1秒点灯してから 消灯し、電源がOFFになります。

**着信** → [LED] 青色 高速点滅

着信中はスピーカーから着信音が聞こえます。

※一部、携帯電話側で設定が必要な場合があります。※着信音を変更することはできません。

**着信応答(電話を受ける)/通話** → (着信中) メインスイッチを短く1回押す

1回 指でつまむ 1 BEEP

着信中はスピーカーから着信音が聞こえます。イヤホン先端部を指でつまんで押すとイヤホンのスピーカーからビーブ音が聞こえ、受話状態で電話を受けることができます(短く2回押すと着信拒否になってしまうのでご注意ください)。

**終話(電話を切る)** → (通話中) メインスイッチを短く1回押す

1回 指でつまむ 1 BEEP

着信応答と同じくメインスイッチを指でつまんで押すとイヤホンのスピーカーからビーブ音が聞こえ、電話が切れます。その後、スタンバイモード(自動接続完了)になります。

**音量調節** → +(音量大/送り)キー/(音量小/戻し)キーの操作

+ (音量大/送り)キーを押すと受話音量が上がります。

- (音量小/戻し)キーを押すと受話音量が下がります。

音量が最大・最小になるとビーブ音でお知らせします。

**左※印に対するの注意点**

※1:一度ペアリングをした後は、イヤホンの電源を入れると、携帯電話を自動的に認識/接続してスタンバイモード(自動接続完了)になります。(自動認識/接続しない場合は、メインスイッチを一度押してください。再接続が行われ、接続できる場合があります。)

※2:接続しない場合は画面やリストから接続してください。

※3:携帯電話の機種やバージョンによっては自動認識されず、携帯電話側でBluetooth機器の接続設定を必要としたり、再度ペアリングが必要となる場合があります。詳しくは携帯電話の取扱説明書をご確認ください。本製品をペアリング後、長期間使用していない場合はご使用になる前に携帯電話の使用可能な機器リストより本製品を接続し直してください。それでも接続できないときは、携帯電話のBluetooth登録機器リストから「BTE14X」を削除し、イヤホンの電源を切って満充電まで充電した後、再度ペアリングするかリセットをお試しください。

※4:イヤホンの電源ON後の自動接続に失敗したり、携帯電話との接続が切れると、このモードになります。

※5:イヤホンの電源をOFFにすると携帯電話との接続が切れますが、ペアリングした携帯電話とのペアリング履歴は残ります(最大8台分のペアリング履歴を記憶するマルチペアリング機能)。

※6:イヤホンを装着(使用)した状態でも、携帯電話を通常操作(終話ボタンを押すなど)して電話を切ることもできます。

※7:耳への障害を予防するため、音量を必要以上に上げすぎないでください。また、大きな音量での長時間の通話はおやめください。

**取扱説明書Bも必ずお読みください**